



いぶき 第13号
 発行者 原田 英雄
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<http://www.kagawah.rofuku.go.jp>



J R 丸亀駅

前立腺癌

泌尿器科部長 西 光雄

前立腺は男性にだけある臓器で、膀胱の出口で尿道を取り巻くように存在し、精液の一部である前立腺分泌液を分泌しています。

前立腺癌は著名人の罹患がよく話題となり、天皇陛下を初め、映画監督の深作欣二さん、歌手の三波春夫さんなどが知られています。欧米諸国では、高い罹患率と高い死亡率のため社会的な関心事となっており、男性癌死亡者の約20%を占めています。我が国でも、近年急速に増加を示しており、将来的には欧米並みになると予測されます。前立腺癌が増加している原因として、高齢者の人口

増加、食生活の欧米化などがあげられますが、最大の原因として、PSA(血中前立腺特異抗原)という腫瘍マーカーの普及があげられます。丸亀市においても、このPSAを測定する前立腺癌検診が普及し、当院における前立腺癌患者は平成10年には54人でしたが、平成13年に丸亀市でPSA検診が導入されて以降は増加傾向にあり、平成15年には26人と著明な増加を示しています。

前立腺癌は病気の進行度により、4段階に分けられます。病期Aは偶発癌といわれ、前立腺肥大症などの手術で偶然発見されたもの、病期Bは前立腺内部にとどまっている段階、病期Cは前立腺の被膜を越えて広がっている段階、病期Dはリンパ節や骨、肝臓、肺などに転移した段階の癌を意味します。また、これら病期の他にも悪性度によって3段階に分類されており、高分化癌は激しいもの、低分化癌は激しいもの、中分化癌はその中間のものをさします。

一般的に進行速度は遅い癌で、初期の段階では自覚症状はありませんが、病期が進んでくると様々な自覚症状が出現します。尿道や膀胱へ浸潤することにより排尿障害がみられますが、これは良性的疾患である前立腺肥大症の症状とよく似ています。そのほか、背骨や骨盤への転移による腰痛や歩行困難などがあります。以前は自覚症状が出現してから診断されていたため、進行癌や転移癌となつている人が約7割を占めていたが、検査の進歩(PSAの普及)により早期癌の割合が高くなつていきます。

前立腺癌に対する治療法としては手術療法、放射線療法、内分泌療法、化学療法などがあります。前二者は局所療法であり主として根治を目指して施行されます。後二者は全身療法であり緩和療法あるいは補助療法として行われます。治療法を選択する際には様々な要因、つまり腫瘍の病期、悪性度や患者さんの年齢、合併症などを考慮して行われます。前立腺癌の標準的手術療法は前立腺全摘除術ですが、早期癌だと全摘除術で完治する率が高くなります。当院でも積極的に手術療法を行っており、平成14年には89例の手術を行いました。これは全国第3位の手術件数でした。また、最近話題となつている治療法として放射線治療のひとつである「小線源療法」があります。アメリカでは標準的な治療法になりつつあるものの、放射線の扱いに厳しい日本では現在この治療法を選択できる施設は限定されています。そのほか、前立腺癌が男性ホルモンを遮断することにより発育が抑制されるといふ特性を生かした内分泌療法などがあります。

このように前立腺癌に対しては様々な治療法がありますが、やはり早期発見がポイントとなつてきます。そのためにも年に一度のPSA検診を受けることをお勧めします。

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
安全で安心のより良い
医療と看護を提供します

人生80年

高齢期を元気で自立して過ごしたい

栄養管理室長 平田 邦江

痴呆症や寝たきりにならず、健康で長生きするためには、いかに老化を遅らせるかが肝要です。食生活のポイントは「おいしく食べて低栄養にならないこと」。そして、「睡眠を充分にとること、体をこまめに動かすこと」です。

最近、高齢者の低栄養が問題視されています。体の低栄養状態は血清アルブミン値で計ることができます。この血清アルブミンの減少を防ぐには、肉類や魚介類、卵、牛乳・乳製品など動物性たんぱく質や、油脂類を適度にとることが効果的です。生活習慣病の予防対策としてコレステロールの摂取制限、肉より魚が推奨されてきた結果、高齢になるほど肉を摂る量が少なくなっているようです。魚も肉も体には必要なもの、魚と肉を同じ比率で沢山の種類の野菜と一緒にバランスよくとることをおすすめします。鍋物、すきやきなどいかがでしょうか。次に水分補給について、高齢



● 労災病院周辺で見られる鳥 ●
クシサギ

主任薬剤師・吉村正則

シギの仲間、夏に極北で繁殖して冬は熱帯で越冬する種が多い。クシサギは温帯付近で越冬するのも多い。秋から春にかけて溜池、川等淡水の水辺で普通に見られる。ハトより少し小さく、飛ぶと白い腰が良く目立つ。

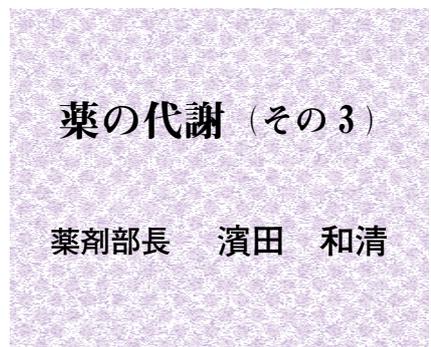
者が一日に必要な水分量は食事に含まれる水分が700~1000ml、一、飲用水分としては1000~1500ml必要です。高齢になると、のどの渇きを感じにくくなるため気がつかないうちに脱水症状を起こす危険性がたかまります。特に寝る前には水分補給を心がけて下さい。夕食に水分の多い豆腐料理などいかがでしょうか。

性たんぱく質を充分に摂取する。③ 魚と肉の摂取は1対1程度の割合にし、魚に偏り過ぎない。④ 肉は、さまざまな種類や部位を摂取する。⑤ 油脂類の摂取が不足しないように注意する。⑥ 牛乳は、毎日200ml以上とる。⑦ 野菜は緑黄色野菜、根菜など、豊富な種類を毎日食べる。火を通して摂取量を確保する。⑧ 食欲がないときは特におかずを先に食べ、ごはんを残す。⑨ 食材の調理法や保存法に習熟する。⑩ 調味料を上手に使い、おいしく食べる。⑪ 和風、中国風、洋風などさまざまな料理を取り入れる。⑫ 会食の機会を豊富にする。⑬ 噛む力を維持するため義歯は定期的に点検を受ける。⑭ 的確な健康情報を積極的に取り入れる。

- ① 三食をバランスよくとり、欠食は絶対に避ける。
- ② 動物

薬の代謝 (その3)

薬剤部長 濱田 和清



などさまざまな利点が考えられます。

- ① 有害作用の軽減
 - ② 薬効範囲の拡大
 - ③ 薬効の強化
- 薬物療法では1種類の薬物だけを処方することはむしろまれで、多くの場合2種以上の薬物を組み合わせることで併用を必要とする理由として

2種類以上の薬物を同時に投与すると、一方の薬物が他の薬物の効果に影響を及ぼすことがあります。これを薬物相互作用と呼んでいます。薬物相互作用の中心的役割を担っているのが肝臓の薬物代謝酵素のはたらきです。薬物の代謝を促進する場合と抑制場合があります。抗癌剤(けいれんを抑える薬物)のフェノバルビタールは肝臓の薬物代謝酵素のはたらきを増大させます。フェノバルビタール投与中に抗凝薬のワルファリンを併用すると、ワルファリンの代謝は促進され、血液からの消失が早くなり、効き目が弱くなります。

また胃・十二指腸潰瘍の治療薬シメチジンは逆に肝臓の薬物代謝酵素の活性を低下させます。そこでシメチジンは併用したワルファリンの代謝を抑制してその作用を増強するため出血傾向が強くなります。このように併用する薬物によって作用が強くなったり弱くなったりします。

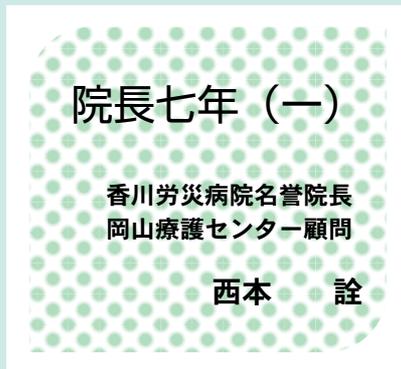
薬を併用する場合には注意が必要です。処方された薬は用法・用量を守って正しく服用しましょう。

初代香川労災病院院長の萱田静海先生は、岡山大学第一外科出身で、私の大先輩である。先生は昭和三十一年（1956）香川労災病院開院の折、清水多栄岡大や、三木岡山県知事のご要望にこたえられ、岡大医学部教授を経て、院長に就任され、以来二十七年余にわたり、病院の発展に尽くされた。開院当時歩兵十二連隊の広い練兵場の跡に、ポツンと建っていた四十床の病院が、先生の定年（当時院長は七十五歳が定年）ご退職の頃には、三百五十四床を擁して、中讃第一の立派な病院となり、敷地狭しとばかり、蛸の足のように伸びた木造建築で埋められていた。

私は岡大で脳神経外科をやっていたが、専門医になる前に、やはり一般外科の教育が必要であると考えていたので、萱田先生にお願いして、医局員を外科に採用して頂いた。香川労災の脳外科手術の折には、時々呼んで頂いて、手術のあと、先生の聲咳に接し、美味しいお酒を飲ませて頂いたのが楽しい思い出である。

先生が定年間近な頃、私に電話があり、自分の後任に、放射線科の山本道夫教授に来て頂けないか、打診してくれというご依頼があり、早速同教授にお願いしたと

ころ、高松の香川県立中央病院からも話があるので、とはつきりしたご意見は得られなかった。そのうち、山本先生はどうも高松を断りにくいということになったので、萱田院長に、岡大を丁度その時退官される方を、寄生虫学の稲臣教授であることを申し上げたところ、是非当たってみてくれと云われるので、すぐ稲臣教授室に参上した。稲臣先生は助講会時代か



らずと親しくしていただき、また医学部長をされていただき、私も附属病院長を拝命していただき、教授会でも、隣りに座っているろいろ打ち合わせをしたりして、話し易い方だったので、私も遠慮無くお勧めした次第である。自分のような基礎系のもので、院長業務が出来るだろうかと思われていたが、先生は医学部長を二期も勤められ、日本学術会議会員もな

さっておられるし、臨床には、開院後間もなく就任された田淵・影山両先生が、外科・内科の部長をして居られるので心配ありませんよ、という私の説得が功を奏して、赴任を承諾された次第であった。稲臣先生は、昭和五十八年（1983）春ご就任になり、同時に田淵・影山両先生が副院長に昇任され、執行部は順調に滑り出したということである。

稲臣院長は平成二年（1990）春定年になられたが、その前年の秋頃、私に後任に来て欲しいというお勧めを、ご本人から頂いた。私は平成三年春が岡大の定年になっているので、それまで待つて頂きたいと申し上げ、その間、田淵副院長が院長代行を下さるることになった。私の故郷は宇多津町で、両親の墓もそこにあるので、喜んで赴任し、七年間院長職を勤めさせて頂いた。

岡大関連病院の院長には、国公立の場合は、従来主として岡大を退官される臨床教授が赴任される習慣があった。病院が然るべき医師を獲得し、院内の協力体制を作り、しかもアカデミックな最新医療体制を保って行くためには、やはり母校の退官教授を数年間でも院長に迎えるのが好都合であるう。

栄養管理室紹介

栄養管理室長 平田 邦江

私達栄養管理室では、「安全な食事」「治療効果のある食事」「おいしい食事」を目標とし、管理栄養士、調理師他34名のスタッフ一同心を一つにして、少しでもきめ細かな対応ができるように日々研鑽しています。食事は98食種の基本食の上に、主食、禁止食品、個人対応食品を組み合わせたメニューをご提供しています。また、常食の患者様には選択メニューを毎日実施しています。

ご協力いただいております嗜好調査でのご意見や残食内容をチェックし、調理・献立に反映、改善しています。災害時対策として非常食を用意し、安全面からは異物混入、誤配膳に注意し、食中毒防止のため刺身、レタスなど一部使用を控えている食材もあります。

また、ご自宅での食事に関するご相談も受けさせていただきますので、ぜひ主治医にご相談ください。



外来診療予定表

診療科	時間・診察室	月	火	水	木	金	
内科	午前	一診	多田	永田	多田	斎藤	永田
		二診	松村	木口	松村	木口	廣田
		三診	塩見	水尾	吉永	塩見	吉永
		四診	斎藤	野口	岡本	野口	岡本
循環器科	午前	一診	曾根	渡邊	中川	水尾	曾根
		二診	中川見(再来のみ)			渡邊(再来のみ)	
	午後		ペースメーカー			振動	
外科	午前	一診	鶴野	津村	香川	鶴野	津村
		二診	國土	立本	内海	村岡	山崎
	午後		呼吸器 津村	肝胆膵 香川	※乳腺 鶴野・村岡		
整形外科	午前	一診	永井	大茂	横山	永井	米田
		二診	井上	高田	米田	大茂	横山
		三診	高田		弓手		井上
	午後	リウマチ外来		リウマチ外来		小児外来	
リハビリテーション科	午前	弓手	田村	高田	弓手	高田	
形成外科	午前	田中	田中	田中	田中(午後)	田中	
脳神経外科	午前	一診	藤本	吉野	寺井	藤本	吉野
		二診	寺井	柚木		中川	
	午後	中川(Xナイフ)			柚木		
神経内科 メンタルヘルス科	午前	一診	中島		中島	中島	中島
		二診	小山	小山	小山		小山
泌尿器科	午前	一診	西	西	水野	西	西
		二診	水野	倉繁	小武家	倉繁	水野
産婦人科	午前	一診	川田	友國	川田	木下	友國
		癌検診	木下	木下	友國	川田	木下
	午後	産科予約検診	友國		木下		川田
		産後検診				交代制	
眼科	午前	一診	小見山	小見山	小見山	小見山	小見山
		二診			國土		
耳鼻咽喉科	午前	一診	森下	森下	森下	滝下	森下
		二診	滝下	滝下	滝下		滝下
	午後			小児外来			
歯科口腔外科	午前	一診	森谷	森谷	森谷	森谷	森谷
		二診			山田		
麻酔科(ペインクリニック)	午前	一診	北浦	戸田	北浦	佐牟田	北浦
		二診	小田				
ストマ外来	午前		佐藤看護師		佐藤看護師		

※乳腺外来 鶴野(第1・3・5木曜日)・村岡(第2・4木曜日)

健診部

日帰りドック……………1日20名 火、金曜日
 一般健診……………1日20名 月、水、木曜日
 脳ドック……………1日1名 月、火、木曜日
 雇入時の健康診断) ……1日30名 (隔週)水曜日
 定期健康診断

海外派遣労働者の健康診断……………随時
 特殊健康診断……………随時
 振動障害健康診断……………1～3名 金曜日
 健診車による出張健診……………月～金曜日
 丸亀市住民検診……………月～金曜日

※全ての健診は予約が必要です。 ※健診の曜日は変更になることがあります。

- 当院は、政府管掌健康保険生活習慣病予防健診事業の指定病院となっており、該当する方は補助を受ける事が出来ます。
- 健診の結果、二次検査が必要となった場合、内科系・乳腺外来のみ当院で予約を行っております。

医事課の紹介

医事課 秦 真紀子

私は、四月から当院の医事課で働き始めました。医事課がどこにあるかと言いますと、正面玄関から入りますと左側のカウンターがあるとところです。医事課というと、まず綺麗なお姉さんがいる受付を思い浮かべますが、奥の事務所でも多くの職員が働いております。医師、看護師などと連絡を密に取り、一人一人の患者さんについて間違いないように常に気を付けております。

働き始めてから感じたことの一つに、医事課の職員は皆、患者さんのことを第一に考えて仕事をやっている、ということがあります。来院された患者さんは、まず受付を通して診察を受けることとなりますが、窓口で受付を行ったり、外来の医療費を計算したりするのが「外来係」です。患者さんの待ち時間ができるだけ短くて済むように迅速に対応しています。また、入院の受付や医療費の計算は「入院係」が行います。予約入院され

る患者さんには来ていただく時間をあらかじめ伝え、待つだけでなくかなくても済むように病棟と連絡を取っています。体調が悪い時などの待ち時間は特に長く感じられますので、「素早く、正確に」ということが常に私たちの心の中にあります。それから、労災保険や介護保険、自賠責保険など特別な手続きの必要な保険や各種検診の手続き、統計、医事全般に関する仕事は「医事係」が担当しています。病歴士や職歴調査員、MSW、病診連携室など、他の医療機関と連携を取りながら働く職員もいます。

このように様々な係に分かれて仕事を分担しつつ、スムーズな流れで事務処理が行えるように連携もしております。



当院へ初めて来られる方、また何度も来られている方の中にも、病院に対して漠然とした不安を持って来られることもあると思います。病気に対する不安もあれば、「どこへ行けばいいのかわかるか?」「誰に話しかけたらいいのかわかるか?」など、病気以外の病院内に関する不安などもあると思います。私もいまだに不安で分からないことが多く、その都度先輩方に聞いています。小さなことでも優しく教えて下さるので、皆様もためらわずに、どうぞ気軽に声をおかけ下さい!

お知らせ

◆糖尿病教室◆

10月1日(金) 15時～16時
 糖尿病について
 岡本 Dr 栄養相談室

10月8日(金) 15時～16時
 食事について
 栄養士 栄養相談室

10月15日(金) 14時～15時
 運動療法
 理学療法士 第2会議室

10月22日(金) 15時～16時
 糖尿病について
 岡本 Dr 栄養相談室

フットケア
 看護師 栄養相談室

11月5日(金) 15時～16時
 糖尿病について
 岡本 Dr 栄養相談室

11月12日(金) 15時～16時
 食事について
 栄養士 栄養相談室

11月19日(金) 14時～15時
 糖尿病について
 理学療法士 第2会議室

11月26日(金) 15時～16時
 糖尿病について
 岡本 Dr 栄養相談室

フットケア
 看護師 栄養相談室

12月3日(金) 15時～16時
 糖尿病について
 岡本 Dr 栄養相談室

12月10日(金) 15時～16時
 食事について
 栄養士 栄養相談室

12月17日(金) 14時～15時
 運動療法
 理学療法士 第2会議室

◆息切れ教室◆

9月24日(金)
 息切れのある人の食事について(管理栄養士による)

10月22日(金)
 鼻と気管支の病気について(咳・痰)

11月26日(金)
 感冒とインフルエンザについて

◆第18回公開健康講座◆

9月16日(木) 13時30分～15時
 「鼻づまり
 ―最近の治療法―」

(講師) 耳鼻咽喉科副部長
 森下常盤

香川労災病院認定看護師

医療が発達した今日、看護教育は専門分化し、特定の分野において水準の高い看護を実践する目的で認定看護師制度が発足しました。現在14の分野があり、感染管理の分野は全国で100人程度認定を受けています。「感染管理認定看護師」の職務は院内感染（入院48時間以降に起こる感染）を制御することです。病院は、免疫力の低下した患者様の治療や、侵襲性の高い処置を行っているため、どの病院も院内感染のリスクを少な

WOCとは、創傷(Wound)、オストミー(Ostomy)、失禁(Continence)の頭文字を表します。オストミーは、「ストーマを造設する手術」という意味で、ストーマとは、様々な病気や障害の治療(手術)によって腹壁(おなか)に造られた便や尿の排泄口のことをいいます。ストーマを造設された方、カテーテルの入っている方、皮膚障害のある方、失禁のある方を対象に専門的に看護していくのがWOC看護



WOCについて



WOC看護認定看護師
佐藤 幸子

認定看護師です。ストーマを造設する患者様の術前・術後のケアに関わり、セルフケアや社会復帰に向けて病棟との継続ケアを行い、また、入院された患者様の褥瘡(とこずれ)予防や治療に専門的な知識技術を生かして活動しています。ストーマ外来を毎週、火曜日と木曜日(午前9時~午後5時)に行っています。そのほか依頼があれば随時対応しています。

「感染管理認定看護師」って何する人？



感染管理認定看護師
塚田由美子

らず持っています。私は、日頃どのような感染が、どれくらい発生しているかを調査・報告し、感染防止策の改善に役立てています。また、感染防止の知識向上のために職員に対し研修も行っています。注射針を誤って刺したために起こる血液媒介感染から職員を守る職業感染管理・清掃・廃棄物・水環境なども感染管理の視点での介入が必要です。感染管理は組織横断的な活動と言われる所以です。これからも、感染管理のリソ

ース(人的資源)として活用していただければと思っておりますのでお気軽に声をかけてください。



編集だより

患者サービス向上委員会

増田 玲子

暑さがまだまだ厳しく、皆様も、夏ばてと戦っておられる毎日でしょう。のどが渇いた時の甘い冷たい清涼飲料水は、おいしいのですが、これが曲者。前号の栄養士の話にもありましたように、カロリーたっぷり、糖尿病への近道です。のどの潤いは、お茶や水で補給しましょう。最近、当院のホームページが一新し、内容が豊富になりました。一度、ご覧下さい。私どもは地域の施設として、お役に立ちたいとがんばっております。